

令和7年3月31日

薩摩川内市議会
議長 下園 政喜 様
（会派代表者経由）

会派の名称 創志会
経理責任者氏名 山中 真由美



政務活動費に係る収支報告書

薩摩川内市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、次のとおり、令和6年度政務活動費に係る収支報告書を提出します。

- 1 収入
政務活動費 180,000 円
- 2 支出

（単位：円）

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	179,755 円	1/30～31 東京都千代田区
研 修 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
人 件 費		
事 務 費		
合 計	179,755 円	

- 3 残余の額
245 円

- 注1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。
- 2 領収書、活動報告書その他必要な書類を添付すること。
- 3 会派に属さない議員の場合は、「会派代表者経由」の必要はないこと。
- 4 会派に属さない議員の場合は、「会派の名称」は記入しないこと。
- 5 会派に属さない議員の場合は、「経理責任者氏名」とあるのは「議員の氏名」と読み替えること。

令和7年3月31日

薩摩川内市議会

議長 下園 政喜 様

会派の名称 創志会

代表者名 山元 剛



活動報告書

1 調査研究事業

（1）調査年月日

令和7年1月30日（木）～31日（金） 1泊2日

（2）調査参加者

山元 剛、福田 俊一郎、山中 真由美

（3）調査先及び調査項目

東京都千代田区 衆議院議員会館

・ 国土交通省

川内港の発展と南九州西回り自動車道（阿久根川内道路）の整備について
川内宮之城道路整備促進について

・ 文部科学省

令和7年度予算（案）の概要
国際バカロレアの今後の展開について

・ 農林水産省

中山間地域等直接交付金について
中山間地農業ルネッサンス事業について
水産関係予算概算決定の主要事項について

（4）調査の概要

別添報告書のとおり

2 研修事業

3 広報事業

4 広聴事業

5 要請・陳情活動事業

6 その他活動

政 務 調 査 報 告 書

令和7年2月14日

薩摩川内市議会

議長 下園 政喜 様

自民創志会

幹事長 山元 剛

政務活動費による視察を実施したので、次の通り報告します。

1. 視察年月日

令和7年1月30日（木）～令和7年1月31日（金）

2. 視察参加者

山元剛・福田俊一郎・山中真由美

3. 視察先

東京都千代田区

衆議院議員会館

国土交通省、文部科学省、農林水産省

4. 調 査 事 項

（1）. 国土交通省

（ア）川内港の発展と南九州西回り自動車道（阿久根川内道路）の整備について

（イ）川内宮之城道路整備促進について

（2）. 文部科学省

（ア）令和7年度予算（案）の概要

（イ）国際バカロレアの今後の展開について

（3）. 農林水産省

（ア）中山間地域等直接交付金について

（イ）中山間地農業ルネッサンス事業について

（ウ）水産関係予算概算決定の主要事項について

(1) 国土交通省

(ア) 川内港の発展と南九州西回り自動車道（阿久根川内道路）の整備について

カーボンニュートラル港としての指定を受けている川内港の展望については今後、物流・人流・観光促進、災害時のダブルネットワークとしての機能を充実していく事が国としても重要であると考えており、市、県、国との事務局で調整会議や地域の課題や必要性を議論していく事も不可欠である。また、その大前提として、南九州西回り自動車道との連結および一体的整備が一日も早く完結する事が最重要課題であるため、地域の醸成および予算付けに、国として具体的なスケジュールは未定だが、事業進捗を見守り協力していく。

(イ) 川内宮之城道路整備促進について

川内港から西回り自動車、そして計画が進行している、さつま町の防衛省弾薬庫整備が機能していく上で、その対応道路としては不可欠と思われる。既存の国道267号・県道44号は県が管理し、バイパス機能としての役割はあるが、川内港から弾薬庫、そして鹿児島空港を連結していく事は、今後の地域経済の発展はもとより、国の防衛策にも大変寄与する川内宮之城道路であるが、国としては構想段階で整備主体も未定であるのが現状で、九州地方整備局も地域の要望を認識しているが、県の新広域ネットワーク計画にはまだ位置付けされていない。

【所 感】

- ・川内港の発展と物流効率化を支える道路ネットワークの重要性
- ・南九州西回り自動車道の令和7年度予算は全体枠確保見込みだが、個別配分は未決定。
- ・川内宮之城道路の位置付けや整備主体の検討が必要であるが、防衛省との協議は国交省ではまだ実施していない。
- ・今後も地域の合意形成と国・県の役割整理を進め、適切な道路整備を推進する必要
- ・北薩横断道路の崩壊対策は県主体だが、国の補助金関与の可能性あり。



(2) 文部科学省

(ア) 令和7年度予算(案)の概要について

文部科学省予算として令和7年度予算額(案)5兆4,029億円が計上されており、前年度比較増減額645億円で1.2%の増である。文教関係予算のポイントとして質の高い公教育の再生として、学校における働き方改革の更なる加速化、教師の処遇改善、学校の指導・運営体制の充実、教師の育成支援の一体的な推進が上げられており教職調整額の改善、学校担任への手当の充実、小学校担任制の拡充・新規採用教師支援、中学校生徒指導担当教師の配置拡充、小学校35人学級の計画的な整備等に1兆6,210億円が計上されている。その他にも、GIGAスクール構想の着実な推進と学校DXの加速として、1人1台端末の着実な更新に新規で3億円計上されており、端末の更新時の予算が課題であったが更新が計画的に進められるものである。また、幼児期及び幼保小接続期の教育の質的向上として、自治体の「幼保小の架け橋プログラム」の推進、質を支える環境整備支援等に22億円、高等学校改革の推進として、DXハイスクールによるデジタル等成長分野を支える人材育成、探求・STEM教育の推進、職業教育の充実、柔軟で質の高い学びの推進等に8億円、部活動の地域連携や地域クラブ活動移行に向けた実証、部活動指導員の配置支援等に37億円、学校保健の推進、学校給食・食育の充実に7億円、道德教育の充実に43億円がそれぞれ計上されている。新しい時代の学びの実現に向けた学校施設の整備等に関して、教育環境の向上と老朽化対策の一体的整備、キャンパスの共創拠点化、防災機能強化、脱炭素化など学校施設等の整備の推進、被災地学び支援派遣等枠組み(D-E S T)の構築として、公立学校施設の整備に681億円、国立大学・高専等施設の整備に364億円、私立学校施設等の整備に91億円がそれぞれ計上されている。また、高等教育機関の多様なミッションの実現に持続可能な教育研究機能の強化に向けた基盤的経費の十分な確保、改革インセンティブとなる重点配分の徹底、高専の高度化・国際化の推進として、日本人の留学促進、G7やグローバル・サウス等の外国人留学生の受入れや留学モビリティ促進、大学の国際化、初等中等教育段階の英語教育や国際連携・交流等の充実に716億円、高度専門人材の育成等の推進として未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業が新規事業として19億円、成長分野を支える半導体人材の育成拠点の形成にこちらも新規事業として6億円がつけられている。また、誰もが学ぶことができる機会の保障として不登校、いじめ対策等の推進に94億円、障害者の学びの推進・特異な才能のある児童生徒への支援に54億円、高等学校等就学支援金制度の着実な実施等として4,083億円、高校生等奨学給付金の充実に147億円、高等教

育の修学支援の充実にこちらはこども家庭庁計上分を含むが、7,494億円計上されている。スポーツに関しては、地域スポーツ環境の総合的な整備充実や持続可能な協議力向上体制の確立、スポーツによる地方創生・経済成長・健康増進等々に、総額363億円、また、文化芸術面に関しては文化資源の持続可能な保存・活用による好循環の構築や世界に誇る多様な文化芸術の創造・発信に総額1,063億円が計上されている。

(イ) 国際バカロレアの今後の展開

国際バカロレアに関しては、前年度同様額の1億円が計上されており、日本国内でのIB認定校を2022年までに200校以上にする目標を各種政策文書で掲げ、国内普及を行った結果、2023年3月時点で207校が認定校となり目標を達成しており、2024年9月時点で251校となっている文部科学省による主な取組としても、日本語DPの実施をIB機構の協力の下DPの一部教科(文学・歴史・科学・数学)について日本語での授業及び最終試験の受験を可能にすることでIB教育を実施する学校や教員の負担を軽減し、DPと学習指導要領の対応関係を示すことで、IB科目と学習指導要領の教科・科目等の両方を履修することによるIB生や学校等の負担を軽減している。さらに、国内におけるIB教育のノウハウを横展開し、IBの普及促進活動を行うことを目的として、IB教育促進コンソーシアムを設立しIB校等へのきめ細やかな支援体制を構築している。また、「国際バカロレアの普及促進に向けた検討に係る有識者会議」の取りまとめ結果も踏まえ、IB導入の教育効果等を可視化するための調査研究や好事例等の収集を2023年度から開始しており、その結果を広く発信することで、IBの更なる導入や活用の検討を促進していくとあった。予算の主なものとして国内推進体制の整備や、IB機構との協力に係るものでIB教育アドバイザーによる自治体・学校・大学等の個別相談対応や取組み支援などがある。また、日本語DPの実施に必要な体制の整備、日本語DP導入のためのセミナー等の実施、IBに関するガイドライン・各科目の指導手引等の翻訳などである。IB推進の効果として、幅広い知識の探求スキル、課題発見・解決能力・コミュニケーション能力・国際的な視野等を持つグローバル人材を育成。IB資格を活用(IBスコアの活用、学力試験の免除)した海外への進路の多様化、また、国内大学の入試でのIB活用により、国内外の優秀なIB生を呼び込み国内大学の国際化・活性化に図るとあった。

【所 感】

- (ア) 令和7年度予算(案)については教職調整額が現状のままでは定額働かせ放題と揶揄されており、教員の成り手不足に歯止めをかけるためにも改善が期待できる予算である。また、高度専門人材の育成等の推進では世界トップレベル大学院教育拠点創出事業が新設されており、産業界及び国内外の教育研究機関との連携強化や、学内外における教員・学生の多様化・流動性を向上させ、世界トップレベルの大学院教育を行う拠点ができることに期待する。その一方で、公立学校施設整備に係る予算は前年度同様、全体の1.3%しかなく、令和6年度補正予算額が2,076億円なのに対し、学校施設の老朽化がピークを迎える中、教育環境の向上と老朽化対策の一体的な整備が必要である。
- (イ) 国際バカロレアの今後の展開に関しては、文部科学省も導入に向けた支援体制はほぼ出来上がっており、導入の是非を問うていきたいと考える。鹿児島県でも初のIB推進コンソーシアムが開催され、当会派の呼びかけに本市教育長以下4名の職員が参加をいただき活発な質疑がなされ、今後の導入に活かされたいと思う。また、IB導入の課題や効果を可視化することのことで、更なる導入の支援に繋げていただきたい。地方であるからこそ、都会との教育格差はなくすべきと考え、今後、少子化は避けられない以上、少数精鋭の人材を育成するためにもIBは導入すべきものとする。



(3) 農林水産省

(ア) 中山間地域等直接交付金について

中山間地において、農業生産条件の不利を補正することにより、将来に向けた農業生産活動を支援する。耕作放棄を防止し、中山間地域等の農業用地8.4万haの減少を防止するとの目標。加算措置について、ネットワーク化加算上限100万円／年・スマート農業加算上限／年を支援するとのこと。

(イ) 中山間地農業ルネッサンス事業について

鹿児島県北薩地域さつま町の事例として、サトイモの付加価値向上による面積拡大が参考事例としてあった。栽培面積拡大のため疫病対策等に有効な湯水栽培や親芋の加工に関するシンポジウムを開催することや、野生鳥獣による被害の防止・軽減を図るため、囲場廃棄の解消など被害防止対策の講演会を開催する等を掲げていた。

(ウ) 水産関係予算概算決定の主要事項について

漁業経営安定対策の着実な実施、資源調査・評価、資源管理の推進、漁業取締密漁監視体制等の強化について、海洋環境変化も踏まえた水産資源管理の着実な実施について取り組むとのこと。

【所 感】

(ア) 中山間地域等直接交付金について

農業生産条件の不利な中山間地域等において、集落等を単位に農用地を維持管理していくための取り決めに締結し、農業生産活動を行う場合面積に応じた交付を、薩摩川内市についても周知活用して参りたい。

(イ) 中山間地農業ルネッサンス事業について

事例としてあった作物を参考に、実践的な研修・指導により取り組み農家を確保し安定的な収量を確保できるよう対策を行う。

(ウ) 水産関係予算概算決定の主要事項について

温暖化に伴う漁場の変化の課題があるが、食糧安全保障の確立に向けた持続的な水産業の発展と活力ある漁業の実現に努める。



政務活動費領収書等添付用紙

			整理番号	
使途項目	調査研究費	支出内容		
(領収書等貼付面)				
領 収 証				
			No. 471748	
<u>自民創志会 様</u>			発行日 2025年 / 月 / 7日	
¥ 163,800- 但し 宿泊パック代として (鹿児島↔羽田) (54,600円×3名様) 上記の通り領収致しました。				
内訳				
消費税率10%		¥ 163,800-	南国交通株式会社	
対象金額(税込)		(内消費税 14,890円)	登録番号 T7340001003192	
消費税率 8%		¥	発行部所	
対象金額(税込)		¥	川内営業所	
現金・クレジット・()			TEL:0996-23-2161	
(事業名、使途及び内容等)				
I/30~31 視察旅費				
飛行機、鉄道、ホテル代 3人分				
(備考)				



政務活動費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	調査研究費	支出内容	
(領収書等貼付面)			
2025年01月28日 領 収 書 自民創志会様 ¥1,875- (但し として 正に領収致しました) (合)あまつや 薩摩川内市向田本町12-5 電話 0996-22-3388 印刷面を内側に折って保管願います 一連No000006 領収No003786 税抜金額 ¥1,736- 消費税等 ¥139- 印			
(事業名、使途及び内容等)			
1/30～31 視察お土産代			
(備考)			

政務活動費支払証明書

使途項目 調査研究費

支 払 年月日	支 払 額	支 払 先	使 途 及 び 内 容	添付できない理 由
R7.1.30 R7.1.31	1, 3 2 0 円	京急電鉄ほか	羽田空港から国会議事堂 前までの電車賃（往復）	当日、乗車券を購 入したため
R7.1.30 R7.1.31	1, 3 2 0 円	京急電鉄ほか	羽田空港から国会議事堂 前までの電車賃（往復）	当日、乗車券を購 入したため
R7.1.30 R7.1.31	1, 3 2 0 円	京急電鉄ほか	羽田空港から国会議事堂 前までの電車賃（往復）	当日、乗車券を購 入したため
合 計	3, 9 6 0 円			

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 7 年 1 月 3 1 日

会派名 自民創志会

代表者 山元 剛



政務活動費支払証明書

使途項目 調査研究費

支 払 年月日	支払額	支払先	使途及び内容	添付できない理由
R7.1.30 R7.1.31	3, 300 円	南国交通	上川内から空港までの バス賃（往復）	当日、乗車券を 購入したため
R7.1.30 R7.1.31	3, 300 円	南国交通	川内駅から空港までの バス賃（往復）	当日、乗車券を 購入したため
R7.1.30 R7.1.31	3, 300 円	南国交通	川内駅から空港までの バス賃（往復）	当日、乗車券を 購入したため
合計	9, 900 円			

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和7年1月31日

会派名 自民創志会
代表者 山元 剛



使途項目 調査研究費

市内旅費領収明細書

整理 番号	日 付	出 張 用 務	起 点 ～ 終 点	旅 費 額	領 収 日	領 収 印	備 考
1	1月30日 1月31日	会派視察市内旅費	隈之城 ～ 平佐西	220円	1/31		
2			～	円			
3			～	円			
4			～	円			
5			～	円			
6			～	円			
7			～	円			
8			～	円			
9			～	円			
10			～	円			
11			～	円			
12			～	円			
13			～	円			
14			～	円			
15			～	円			
16			～	円			
17			～	円			
18			～	円			
19			～	円			
20			～	円			

※薩摩川内市職員等旅費の支給に関する条例施行規則に準じて支出

1/30～31 自民創志会・希綱会合同政務調査分の搭乗内容について

1/30(木)

鹿児島空港(9:10 発) ～ 羽田空港(10:45 着) JAL642

山元議員、山中議員、福田議員 計3名

上記のとおり、相違ないことを証明する。

令和7年1月31日

出張命令権者 自民創志会 代表 山元 剛





ご搭乗案内

Boarding information slip

-----この控えは着地までご携帯ください-----

ヤマモト ツヨシ様 *****B527/JL 085

◆出発DEPARTURE

◆行先DESTINATION

東京

⇒ 鹿児島

TOKYO HANEDA

KAGOSHIMA

◆便名FLIGHT

JAL 651

◆搭乗口 GATE

◆座席SEAT

12

42H

◆搭乗日 DATE

◆運賃種別 FARE TYPE

1/31

PJHGLAII

◆出発時刻 DEP. TIME

◆搭乗締切時刻 Boarding Close Time

15:30

15:20

◆搭乗案内 BOARDING INFORMATION

BOARDING GROUP 3

出発時刻10分前までに搭乗口へ
お越しにならなかった場合はご搭乗いただけません

これは搭乗控えです 搭乗口では保安検査場と同じ
JAL-ICまたは2次元バーコードをかざしてください

JMBM

Operation JAL



ご搭乗案内

Boarding information slip

-----この控えは着地までご携帯ください-----

ヤマナカ マユミ様 *****6328/JL 082

◆出発DEPARTURE

◆行先DESTINATION

東京

⇒ 鹿児島

TOKYO HANEDA

KAGOSHIMA

◆便名FLIGHT

JAL 651

◆搭乗口 GATE

◆座席SEAT

12

45H

◆搭乗日 DATE

◆運賃種別 FARE TYPE

1/31

PJHGLAII

◆出発時刻 DEP. TIME

◆搭乗締切時刻 Boarding Close Time

15:30

15:20

◆搭乗案内 BOARDING INFORMATION

BOARDING GROUP 3

出発時刻10分前までに搭乗口へ
お越しにならなかった場合はご搭乗いただけません

これは搭乗控えです 搭乗口では保安検査場と同じ
JAL-ICまたは2次元バーコードをかざしてください

JMBM

Operation JAL

TOKYO HANEDA

KAGOSHIMA

◆便名FLIGHT

JAL 651

◆搭乗口 GATE

◆座席SEAT

12

43H

◆搭乗日 DATE

◆運賃種別 FARE TYPE

1/31

PJHGLAII

◆出発時刻 DEP. TIME

◆搭乗締切時刻 Boarding Close Time

15:30

15:20

◆搭乗案内 BOARDING INFORMATION

BOARDING GROUP 3

出発時刻10分前までに搭乗口へ
お越しにならなかった場合はご搭乗いただけません

これは搭乗控えです 搭乗口では保安検査場と同じ
JAL-ICまたは2次元バーコードをかざしてください

Operation JAL